

第1回山形県津波災害警戒区域等指定基準策定検討会議 議事概要

1 日 時 平成29年9月4日（月） 13時30分～15時

2 場 所 山形県消防学校大会議室

3 出席者 別添出席者名簿のとおり

4 議 事

- (1) 本県の津波防災対策及び津波防災地域づくりに関する法律の概要について
- (2) 本会議の目的及び検討の主な論点について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

【主な質疑・意見等】

- Q1：津波災害警戒区域を指定する場合、市では新たに図面を作成することになると思うが、県の財政的な支援はあるのか。また、津波災害特別警戒区域を指定して土地利用規制を行うことについては、地域の「まちづくり」の方向性を踏まえながら慎重に進めていく必要がある。
- A1：津波災害警戒区域等を指定するのは県であるため、区域指定の図面は県が作成する。指定基準を作成するにあたっては、様々な御意見をいただきながら検討していきたい。
- Q2：津波災害特別警戒区域を指定すると土地利用規制が生じるが、その事務を扱う窓口はどこになるのか。
- A2：今後、県の関係部局と協議していく。
- Q3：現在示されている全体的スケジュールについて、津波災害警戒区域の指定が進まないことも想定される。仮に津波災害警戒区域指定が進まない場合、津波災害特別警戒区域の指定に向けた議論を進めていくことに違和感がある。その場合のスケジュールはどのようになるか。
- A3：県としては、市町の意見を聴きながら警戒区域の指定を進めていくこととするが、現時点ではこの度示したスケジュールのまま進めていきたいと考えている。
- Q4：津波浸水想定では浸水深が示されているが、津波が建築物を押し力を示したものはないのか。また、津波災害特別警戒区域のレッドゾーンでは、市町村の条例で定めた用途の建築物について規制が可能となるが、例えばどのような用途を条例で定めることになるのか。
- A4：津波浸水想定では、津波が建築物を押し力を示したもの（計算結果）はない。また、市町村の条例で定める用途は、住宅などが考えられる。

(別添)

第1回山形県津波災害警戒区域等指定基準策定検討会議 出席者名簿

日時 平成29年9月4日(月)13時30分～15時

場所 山形県消防学校 1階 大会議室

【山形地方気象台】

	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	山形地方気象台	防災管理官	越後 覚	
2		地震津波防災官	福田 武夫	随 行

【山形県】

	所 属	職 名	氏 名	備 考	
3	県土整備部	参事(兼)河川課長	高橋 英信		
4		河 川 課	河川計画主査	佐藤 司	随 行
5			主 査	大川 徹	随 行
6		管 理 課	企画主査	遠藤 靖夫	代理出席
7		都市計画課	都市計画専門員	石川 正人	代理出席
8		空港港湾課	課長補佐	渡部 靖	代理出席
9		建築住宅課	建築指導主査	伊藤 裕一	代理出席
10		庄内総合支庁総務企画部 総務課防災安全室	室 長	佐藤 正広	
11	消防防災主査		松永 睦	随 行	
12	庄内総合支庁建設部	道路計画課	都市整備主査	成田 奈美	代理出席
13		建 築 課	審査指導主査	高橋 慎也	代理出席

【市町】

	所 属	職 名	氏 名	備 考
14	鶴岡市市民部	参事(兼)危機管理監 (兼)防災安全課長	増田 亨	
15	酒田市総務部危機管理課	課長補佐	佐藤 良	代理出席
16	遊佐町総務課	課長補佐(兼)係長	奥山 仁志	代理出席

【事務局】

	所 属	職 名	氏 名	備 考
17	山形県環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局 危機管理課	課 長	井上 宏彦	
18		課長補佐(防災担当)	黒坂 輝彦	
19		津波防災主査	中川 尚	